

■集計

以下の協働事業自己チェックリストの集計は事務局担当者が行います。

- (1) 事務局担当者は、集計結果をチェックリスト記入者全員に配布してください。
- (2) 集計シートの小項目で「はい」が多い・少ないのは、共通認識ができていないか、あまり共通認識となっていないかの度合いを表します。

認識できている小項目と認識されにくい小項目を確認します。

認識されにくい部分については、認識のすり合わせができるように話し合ってください。

- (3) 話し合った結果は、次回の協働事業を実施する際にお役立てください。

協働事業自己チェックリスト 集計シート

記入者数N=

| 項目 | 小項目 | はい | いいえ | ? | 合計 |
|------------|-----------------------------|----|-----|---|----|
| I. 事業の結果 | 1. 問題発生時の体制 | 2 | | 2 | 11 |
| | 2. クレームの吸い上げとフィードバック | 1 | | 3 | |
| | 3. 事業実施後の振り返り | 3 | | 1 | |
| | 4. 成果の達成 | 1 | | 3 | |
| | 5. 事業の将来展望 | 4 | | | |
| II. 事業の成果 | 1. 事業後の受益者とのコミュニケーションと満足度 | | | 4 | 8 |
| | 2. 事業後の資源提供者とのコミュニケーションと満足度 | 1 | | 3 | |
| | 3. 人々の自立性の向上 | 3 | | 1 | |
| | 4. 新たなネットワーク | 3 | | 1 | |
| | 5. 地域や社会に与えたインパクト | 1 | | 3 | |
| III. 実施の結果 | 1. 協働意識の醸成 | 3 | | | 17 |
| | 2. 協働の満足度 | 4 | | | |
| | 3. 協働のコストの分担 | 2 | 1 | 1 | |
| | 4. 今後の協働の改善 | 4 | | | |
| | 5. 結果の公開と説明責任 | 4 | | | |

NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[完了期]

試作品

このチェックリストは、
「市民と行政」が行う「協働事業」を
「事業に中心的に関わっていた人」が、
事業終了後、報告書作成段階の「完了期」に
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称：三重県南勢志摩県民局企画調整部宮川流域
ルネッサンスプロジェクト

記入者氏名：滝尻富士雄

記入年月日：平成17年2月17日

協働事業の名称：守ろう清流！宮川流域いっせいチェック

■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには はい、
行われていないと思うものには いいえ、わからないものには ? を選び、回答を
○で囲み（データに直接入力の場合は、 内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

I. 事業の結果

1. 問題発生時の体制

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業実施に関して問題が発生した場合に、速やかに両者でその問題について情報を共有し、話し合いを行ったり、解決できない場合は第三者に相談するなど、解決を図る体制をつくりましたか？
→ 毎月定例開催のワークショップでの対応は可能。

2. クレームの吸い上げとフィードバック

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業実施に関して受益者やドナーから苦情や意見が寄せられた場合に、速やかに両者でその情報を共有し、適切に対応すべく、改善に向けた話し合いを行い、活かすことができましたか？

3. 事業実施後の振り返り

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業終了後、当初の企画や実施内容、その結果についてお互いに話し合う機会を持ち、結果の把握と共有に努めるとともに、それぞれの提供した資源(人・物・予算・情報)、役割、負担などに見合う、事業規模、取り組み、結果であったか意見交換を行いましたか？

[結果]

毎月定例のワークショップで毎月の進捗状況を確認めるとともに年度末等に年度全般のふりかえりを行っている。

4. 成果の達成

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を始める時に設定した成果目標は、達成できましたか？

(*成果目標を、両者の間で話し合い、互いに達成を確認していることが前提となります)

[成果]

- ・年間10回の流域51ポイントでの水環境定期いっせい調査。
- ・ワークショップ毎月開催
- ・発表交流会、全体説明会開催
- ・流域住民啓発パンフレット作成・全戸配布(予定)

5. 事業の将来展望

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

今回行った事業が、今後どのような形で続いていくことが望ましいか、残っている課題や改善策について話し合い、政策提言としてまとめるなど、行政関与の観点も含めて、社会的な責任を果たしていく体制などを両者で検討しましたか？

[課題解決のための改善提案]

- ・県委託事業からの発展的自立に向け、ルネサンス協議会等の支援等地域での活動費確保を図る。
- ・水質保全是森林問題なども大きく関わるため、自主的勉強会を立ち上げた。

| | |
|--------------|--|
| 上記「はい」と答えた合計 | |
|--------------|--|

II. 事業の成果

1. 事業後の受益者とのコミュニケーションと満足度

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業終了後、受益者から意見を聴く機会を持ち、この事業を通じて十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[受益者の満足の声]

2. 事業後の資源提供者とのコミュニケーションと満足度

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業終了後、報告書や決算書などを作成し、納税者を含む資源提供者への積極的な情報の提供や公開を行い、また、意見を聴く機会を持ち、事業の結果に十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[資源提供者の満足の声]

- ・毎月の調査結果はホームページにわかりやすくかつ詳細に掲載し、結果のまとめ（考察）でも解説している。
- ・調査スタッフを中心に配布する会報誌「51ポイント通信」も年3回程度発行し情報提供を行っている。
- ・意見を聞く機会は、一般住民を対象とした発表交流会で意見交換の場を持ち、次につなげる機会としている。
- ・宮川大好き宣言キャンペーンを通じ、より広範な人々を対象として水質保全活動への理解と参加を求めている（仲間づくりによる水質保全の輪づくり）。

3. 人々の自立性の向上

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業を通じて、地域の人々が、地域や社会の課題を理解し、自立した市民として、解決のために自発的に行動できるようになりましたか？

→ ワークショップで問題を深め、クリーン作戦や流域課題検討会、大好きキャンペーン行動等の自主実施に結実。

4. 新たなネットワーク

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業を通じて、市民や関係する団体、行政の新しいつながりが生まれ、地域に新たなネットワークが出来てきましたか？

→ 流域ネットワークの構築

5. 地域や社会に与えたインパクト

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を実施することにより、期待された影響 [課題解決・社会変革] を、地域や社会にもたらすことができましたか？

[事業が地域や社会に与えた影響]

- ・流域全戸配布の啓発パンフレットの作成・配布により、流域住民の意識に訴えることができた。
- ・発表交流会での記念講演（家庭用廃食油のBDF化、菜の花栽培による地域循環型社会づくり）を通して、将来の具体的なビジョンを示すことができた。

| | |
|--------------|--|
| 上記「はい」と答えた合計 | |
|--------------|--|

Ⅲ. 実施の結果

1. 協働意識の醸成

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を通じて、事業関係者（行政・市民）の間で、協働への理解が深まり、効果を実感する人が増え、今後、積極的に協働という手法を事業に取り入れ、実施しようという機運が生まれてきましたか？

2. 協働の満足度

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を通じて、事業に関わった人々（行政・市民）は、単独で事業を行った場合よりも、協働で進めたことでより大きな効果を得たと実感し、十分な満足を得ることができましたか？

3. 協働のコストの分担

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を通じて、行政側、市民側、あるいは一部の関係者に、費用、労力・時間等、ある面での負担感が生じたとき、その負担に対する配慮ができていましたか？

[生じた負担感]

・毎月開催のワークショップは流域全域が範囲のため、参加者の負担軽減のために話し合いで流域中央部（大台町）での開催（平日夜）とした。

4. 今後の協働の改善

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業を通じて得た、協働事業を行う際の関係づくり、資源（人・物・予算・情報）調達、役割分担、連携等の課題を抽出し、両者で改善を考え、互いに今後の協働事業に活用していきますか？

[改善ポイント]

財源課題については自立への方途を探るため、2年に渡る検討のなかで、県費依存から流域協議会を含む自主財源確保へのシフトを図るべく、円卓会議での提案機会なども活用し地域主体の方向で検討を重ねている。

5. 結果の公開と説明責任

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業の結果や成果を自己評価や当事者以外の評価によって明らかにし、今後、同じような協働事業の企画・実施にあたっての改善のヒントにするために、地域や社会に対して積極的に情報を公開していきますか？

→ 調査結果などはホームページ、パンフレット、発表交流会等で積極的に公開するとともに、取り組みへの評価などは、別途開催している円卓会議での議論を通じ明確化されたものが協議会ホームページに掲載されている。

| | |
|--------------|--|
| 上記「はい」と答えた合計 | |
|--------------|--|

NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[完了期]

試作品

このチェックリストは、
「市民と行政」が行う「協働事業」を
「事業に中心的に関わっていた人」が、
事業終了後、報告書作成段階の「完了期」に
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称：宮川ルネッサンスいっせいチェック
記入者氏名：：坂本照子

記入年月日 2005年2月16日

協働事業の名称：水質いっせいチェック

■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには はい、
行われていないと思うものには いいえ、わからないものには ? を選び、回答を
○で囲み（データに直接入力の場合は、内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

I. 事業の結果

1. 問題発生時の体制

| | | |
|--|------------------------------|----------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> ? |
|--|------------------------------|----------------------------|

事業実施に関して問題が発生した場合に、速やかに両者でその問題について情報を共有し、話し合いを行ったり、解決できない場合は第三者に相談するなど、解決を図る体制をつくりましたか？

2. クレームの吸い上げとフィードバック

| | | |
|--|------------------------------|----------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> ? |
|--|------------------------------|----------------------------|

事業実施に関して受益者やドナーから苦情や意見が寄せられた場合に、速やかに両者でその情報を共有し、適切に対応すべく、改善に向けた話し合いを行い、活かすことができましたか？

3. 事業実施後の振り返り

| | | |
|--|------------------------------|----------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> ? |
|--|------------------------------|----------------------------|

事業終了後、当初の企画や実施内容、その結果についてお互いに話し合う機会を持ち、結果の把握と共有に努めるとともに、それぞれの提供した資源(人・物・予算・情報)、役割、負担などに見合う、事業規模、取り組み、結果であったか意見交換を行いましたか？

[結果] まだ継続しています

4. 成果の達成

| | | |
|-----------------------------|------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input checked="" type="checkbox"/> ? |
|-----------------------------|------------------------------|---------------------------------------|

事業を始める時に設定した成果目標は、達成できましたか？

(*成果目標を、両者の間で話し合い、互いに達成を確認していることが前提となります)

[成果] 継続中

5. 事業の将来展望

| | | |
|--|------------------------------|----------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> ? |
|--|------------------------------|----------------------------|

今回行った事業が、今後どのような形で続いていくことが望ましいか、残っている課題や改善策について話し合い、政策提言としてまとめるなど、行政関与の観点も含めて、社会的な責任を果たしていく体制などを両者で検討しましたか？

[課題解決のための改善提案]
] 調査にとどまることなく、解決のための活動を探り、実践したり、それぞれへの対応プロジェクトを組織した。

| | |
|------------------|---|
| 上記「はい」 と答えた合計 | 4 |
|------------------|---|

II. 事業の成果

1. 事業後の受益者とのコミュニケーションと満足度

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業終了後、受益者から意見を聴く機会を持ち、この事業を通じて十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[受益者の満足の声]

2. 事業後の資源提供者とのコミュニケーションと満足度

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業終了後、報告書や決算書などを作成し、納税者を含む資源提供者への積極的な情報の提供や公開を行い、また、意見を聴く機会を持ち、事業の結果に十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[資源提供者の満足の声]

継続中ではあるが、今までの時点では良好な関係図票が出来たと思う

[資源提供者の満足の声]

継続中ではあるが、今までの時点では良好な関係図票が出来たと思う

3. 人々の自立性の向上

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業を通じて、地域の人々が、地域や社会の課題を理解し、自立した市民として、解決のために自発的に行動できるようになりましたか？

全ての地域ではないが、この事業をきっかけに自発的な行動が見られたところもあった。

4. 新たなネットワーク

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業を通じて、市民や関係する団体、行政の新しいつながりが生まれ、地域に新たなネットワークが出来てきましたか？

5. 地域や社会に与えたインパクト

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を実施することにより、期待された影響 [課題解決・社会変革] を、地域や社会にもたらすことができましたか？

[事業が地域や社会に与えた影響]

ほんの少しではあるが、そのような方向が感じられた。

[事業が地域や社会に与えた影響]

ほんの少しではあるが、そのような方向が感じられた。

| | |
|--------------|---|
| 上記「はい」と答えた合計 | 2 |
|--------------|---|

Ⅲ. 実施の結果

1. 協働意識の醸成

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を通じて、事業関係者（行政・市民）の間で、協働への理解が深まり、効果を実感する人が増え、今後、積極的に協働という手法を事業に取り入れ、実施しようという機運が生まれてきましたか？

2. 協働の満足度

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を通じて、事業に関わった人々（行政・市民）は、単独で事業を行った場合よりも、協働で進めたことでより大きな効果を得たと実感し、十分な満足を得ることができましたか？

3. 協働のコストの分担

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を通じて、行政側、市民側、あるいは一部の関係者に、費用、労力・時間等、ある面での負担感が生じたとき、その負担に対する配慮ができていましたか？

[生じた負担感]

4. 今後の協働の改善

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業を通じて得た、協働事業を行う際の関係づくり、資源（人・物・予算・情報）調達、役割分担、連携等の課題を抽出し、両者で改善を考え、互いに今後の協働事業に活用していきますか？

[改善ポイント]

熱い思いと積極的な姿勢に見合うスタッフの増員と予算措置を期待したい。

5. 結果の公開と説明責任

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業の結果や成果を自己評価や当事者以外の評価によって明らかにし、今後、同じような協働事業の企画・実施にあたっての改善のヒントにするために、地域や社会に対して積極的に情報を公開していきますか？

| | |
|--------------|---|
| 上記「はい」と答えた合計 | 4 |
|--------------|---|

NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[完了期]

試作品

このチェックリストは、
「市民と行政」が行う「協働事業」を
「事業に中心的に関わっていた人」が、
事業終了後、報告書作成段階の「完了期」に
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称：宮川流域いっせいチェックワークショップ

記入者氏名：門野 正信

記入年月日 平成 17 年 2 月 14 日

協働事業の名称：守ろう清流！宮川流域いっせいチェック

■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには はい、
行われていないと思うものには いいえ、わからないものには ? を選び、回答を
○で囲み（データに直接入力の場合は、 内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

I. 事業の結果

1. 問題発生時の体制

| | | |
|--|------------------------------|----------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> ? |
|--|------------------------------|----------------------------|

事業実施に関して問題が発生した場合に、速やかに両者でその問題について情報を共有し、話し合いを行ったり、解決できない場合は第三者に相談するなど、解決を図る体制をつくりましたか？

2. クレームの吸い上げとフィードバック

| | | |
|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|
| <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> ? |
|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|

事業実施に関して受益者やドナーから苦情や意見が寄せられた場合に、速やかに両者でその情報を共有し、適切に対応すべく、改善に向けた話し合いを行い、活かすことができましたか？

3. 事業実施後の振り返り

| | | |
|--|------------------------------|----------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> ? |
|--|------------------------------|----------------------------|

事業終了後、当初の企画や実施内容、その結果についてお互いに話し合う機会を持ち、結果の把握と共有に努めるとともに、それぞれの提供した資源（人・物・予算・情報）、役割、負担などに見合う、事業規模、取り組み、結果であったか意見交換を行いましたか？

[結果]

4. 成果の達成

| | | |
|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|
| <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> ? |
|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|

事業を始める時に設定した成果目標は、達成できましたか？

（*成果目標を、両者の間で話し合い、互いに達成を確認していることが前提となります）

[成果]

5. 事業の将来展望

| | | |
|--|------------------------------|----------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> ? |
|--|------------------------------|----------------------------|

今回行った事業が、今後どのような形で続いていくことが望ましいか、残っている課題や改善策について話し合い、政策提言としてまとめるなど、行政関与の観点も含めて、社会的な責任を果たしていく体制などを両者で検討しましたか？

[課題解決のための改善提案]

宮川流域産業の構築

| | |
|--------------|---|
| 上記「はい」と答えた合計 | 2 |
|--------------|---|

II. 事業の成果

1. 事業後の受益者とのコミュニケーションと満足度

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業終了後、受益者から意見を聴く機会を持ち、この事業を通じて十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[受益者の満足の声]

2. 事業後の資源提供者とのコミュニケーションと満足度

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業終了後、報告書や決算書などを作成し、納税者を含む資源提供者への積極的な情報の提供や公開を行い、また、意見を聴く機会を持ち、事業の結果に十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[資源提供者の満足の声]

3. 人々の自立性の向上

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業を通じて、地域の人々が、地域や社会の課題を理解し、自立した市民として、解決のために自発的に行動できるようになりましたか？

4. 新たなネットワーク

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業を通じて、市民や関係する団体、行政の新しいつながりが生まれ、地域に新たなネットワークが出来てきましたか？

5. 地域や社会に与えたインパクト

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を実施することにより、期待された影響 [課題解決・社会変革] を、地域や社会にもたらすことができましたか？

[事業が地域や社会に与えた影響]

| | |
|--------------|---|
| 上記「はい」と答えた合計 | 2 |
|--------------|---|

Ⅲ. 実施の結果

1. 協働意識の醸成

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を通じて、事業関係者（行政・市民）の間で、協働への理解が深まり、効果を実感する人が増え、今後、積極的に協働という手法を事業に取り入れ、実施しようという機運が生まれてきましたか？

2. 協働の満足度

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を通じて、事業に関わった人々（行政・市民）は、単独で事業を行った場合よりも、協働で進めたことでより大きな効果を得たと実感し、十分な満足を得ることができましたか？

3. 協働のコストの分担

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を通じて、行政側、市民側、あるいは一部の関係者に、費用、労力・時間等、ある面での負担感が生じたとき、その負担に対する配慮ができていましたか？

[生じた負担感]

資金（予算）の不足

4. 今後の協働の改善

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業を通じて得た、協働事業を行う際の関係づくり、資源（人・物・予算・情報）調達、役割分担、連携等の課題を抽出し、両者で改善を考え、互いに今後の協働事業に活用していきますか？

[改善ポイント]

資金の捻出

5. 結果の公開と説明責任

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業の結果や成果を自己評価や当事者以外の評価によって明らかにし、今後、同じような協働事業の企画・実施にあたっての改善のヒントにするために、地域や社会に対して積極的に情報を公開していきますか？

| | |
|--------------|---|
| 上記「はい」と答えた合計 | 4 |
|--------------|---|

NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[完了期]

試作品

このチェックリストは、
「市民と行政」が行う「協働事業」を
「事業に中心的に関わっていた人」が、
事業終了後、報告書作成段階の「完了期」に
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称：宮川流域いっせいチェックワーキンググループ

記入者氏名：中森 巖

記入年月日 17.2.18

協働事業の名称：守ろう清流！宮川流域いっせいチェック

■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには はい、
行われていないと思うものには いいえ、わからないものには ? を選び、回答を
○で囲み（データに直接入力の場合は、内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

I. 事業の結果

1. 問題発生時の体制

| | | |
|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|
| <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> ? |
|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|

事業実施に関して問題が発生した場合に、速やかに両者でその問題について情報を共有し、話し合いを行ったり、解決できない場合は第三者に相談するなど、解決を図る体制をつくりましたか？

2. クレームの吸い上げとフィードバック

| | | |
|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|
| <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> ? |
|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|

事業実施に関して受益者やドナーから苦情や意見が寄せられた場合に、速やかに両者でその情報を共有し、適切に対応すべく、改善に向けた話し合いを行い、活かすことができましたか？

3. 事業実施後の振り返り

| | | |
|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|
| <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> ? |
|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|

事業終了後、当初の企画や実施内容、その結果についてお互いに話し合う機会を持ち、結果の把握と共有に努めるとともに、それぞれの提供した資源（人・物・予算・情報）、役割、負担などに見合う、事業規模、取り組み、結果であったか意見交換を行いましたか？

[結果]

4. 成果の達成

| | | |
|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|
| <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> ? |
|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|

事業を始める時に設定した成果目標は、達成できましたか？

（*成果目標を、両者の間で話し合い、互いに達成を確認していることが前提となります）

[成果]

5. 事業の将来展望

| | | |
|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|
| <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> ? |
|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|

今回行った事業が、今後どのような形で続いていくことが望ましいか、残っている課題や改善策について話し合い、政策提言としてまとめるなど、行政関与の観点も含めて、社会的な責任を果たしていく体制などを両者で検討しましたか？

[課題解決のための改善提案]

| | |
|--------------|--|
| 上記「はい」と答えた合計 | |
|--------------|--|

II. 事業の成果

1. 事業後の受益者とのコミュニケーションと満足度

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業終了後、受益者から意見を聴く機会を持ち、この事業を通じて十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

| |
|------------|
| [受益者の満足の声] |
|------------|

2. 事業後の資源提供者とのコミュニケーションと満足度

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業終了後、報告書や決算書などを作成し、納税者を含む資源提供者への積極的な情報の提供や公開を行い、また、意見を聴く機会を持ち、事業の結果に十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

| |
|--------------|
| [資源提供者の満足の声] |
|--------------|

3. 人々の自立性の向上

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業を通じて、地域の人々が、地域や社会の課題を理解し、自立した市民として、解決のために自発的に行動できるようになりましたか？

4. 新たなネットワーク

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業を通じて、市民や関係する団体、行政の新しいつながりが生まれ、地域に新たなネットワークが出来てきましたか？

5. 地域や社会に与えたインパクト

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を実施することにより、期待された影響〔課題解決・社会変革〕を、地域や社会にもたらすことができましたか？

| |
|------------------|
| [事業が地域や社会に与えた影響] |
|------------------|

| | |
|--------------|--|
| 上記「はい」と答えた合計 | |
|--------------|--|

Ⅲ. 実施の結果

1. 協働意識の醸成

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を通じて、事業関係者（行政・市民）の間で、協働への理解が深まり、効果を実感する人が増え、今後、積極的に協働という手法を事業に取り入れ、実施しようという機運が生まれてきましたか？

2. 協働の満足度

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を通じて、事業に関わった人々（行政・市民）は、単独で事業を行った場合よりも、協働で進めたことでより大きな効果を得たと実感し、十分な満足を得ることができましたか？

3. 協働のコストの分担

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を通じて、行政側、市民側、あるいは一部の関係者に、費用、労力・時間等、ある面での負担感が生じたとき、その負担に対する配慮ができていましたか？

[生じた負担感]

4. 今後の協働の改善

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業を通じて得た、協働事業を行う際の関係づくり、資源(人・物・予算・情報)調達、役割分担、連携等の課題を抽出し、両方で改善を考え、互いに今後の協働事業に活用していきますか？

[改善ポイント]

5. 結果の公開と説明責任

| | | |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業の結果や成果を自己評価や当事者以外の評価によって明らかにし、今後、同じような協働事業の企画・実施にあたっての改善のヒントにするために、地域や社会に対して積極的に情報を公開していきますか？

| | |
|--------------|--|
| 上記「はい」と答えた合計 | |
|--------------|--|